

令和3年度東北農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」選定地区及び選定者

コミュニティ部門			
No.	所在市町村	地区名	取組の概要
1	青森県五戸町	たてまちかくらほぞんかい 館町神楽舞保存会（倉いしとちかいりょうく 石土地改良区）	 老人ホームへの慰問活動 ・館町神楽舞は、江戸時代初期から続く伝統芸能であり、神社の例大祭や地域の結婚式で披露される他、季節や物事の節目の儀式として、地域住民に深く根付く。 ・貴重な文化資源を後世に継承するため、若手の育成や内外への発信を積極的に実施。
2	岩手県遠野市	特定非営利活動法人遠野山・里・暮らしネットワーク	 農家民宿やレストランが開業 ・2019年にグリーン・ツーリズムメニューの販売店舗「遠野旅の産地直売所」（旅行業第3種）を遠野駅前に開業。 ・遠野市民を対象にした「遠野超マイクロツーリズム」、「遠野旅のオンライン産直」等を実施。 ・農家民宿や農家レストラン開業へのサポートをコロナウイルス感染症防止の安全対策を十分踏まえながら取組みを推進。
3	岩手県滝沢市	みどり水土里ネット いわてさんろく岩手山麓	 アドプト協定による施設と環境の保全活動 ・岩洞湧水と越前堰用水について、受益地内の小学生を対象に学習会・施設見学会を実施。 ・農地や農業水利施設の持つ多面的機能の維持するため、アドプト制度（地元自治会・学校・企業などが「里親」になり、「養子」（＝農業水利施設）を守る）を推進。
4	秋田県藤里町	特定非営利活動法人ふじさと元気塾	 改修して南白神ベースになる空き家 ・南白神の里を中心とした地域を元気にするために農家民宿運営を実施。 ・自主事業のイワナ養殖、藤里町木の駅管理運営・移住定住促進・空き家紹介管理事業、秋田県のグリーン・ツーリズム視点地域育成事業、魅力ある里づくりモデル事業、森林の多面的機能発揮事業を実施。
5	福島県広野町	みらいがく 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校スペシャリスト系列（商業）3年次	 地元の特産品を地元加工業と協働で商品開発 ・農業が停滞し、地域の6次化商品が激減したため、高校生が学習しているビジネスを活用し、収穫ツアーなどを商品化。 ・地域6次化のバトン渡しを企画し、双葉郡富岡町の玉ねぎ（品種・浜の輝）を多くの人に知ってもらう活動を実施。 ・高校生がイベント等に店出し、アピールするための商品として、【Fのわたあめ】を開発・販売。
ビジネス部門			
6	青森県弘前市	農業生産法人 有限会社 ANEKKO	 嶽きみを使用したお菓子や焼酎等 ・規格外や余剰生産物を所得に変えるため、直売所「野市里（のいちご）」を運営。 ・勇壮な岩木山や田園風景を眺めながら、主に地元産の四季の食材を使ったランチや喫茶が楽しめるレストラン「こざくら」を運営。 ・廃棄されることが多かった2番果以降の嶽きみを利用し、様々な加工商品を開発。
7	岩手県紫波町	株式会社 しわ紫波フルーツパーク	 地域のブドウを使用し、醸造したワイン ・ワインの販売目標5万本に対して10万本超の販売実績があり、農家からのワイン用ブドウの購入額も増加し、農家所得が向上。 ・ワインの売り上げの一部を岩手県共同募金会等に寄付するなど、社会貢献にも寄与。 ・小中学生のブドウ作業体験や岩手県立農業大学校の実習受入など、研修の場を提供。

8	秋田県 八峰町	はっほうちょう 八峰町 農林振興課	 <p>カミツレ収穫体験の様子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海外輸入に頼っていた生薬原料のキキョウについて、八峰町が生薬原料の国内生産に着手し、栽培を普及。 ・カミツレについても栽培指針と調製乾燥作業体制を確立し、特産品開発を支援。 ・カミツレ収穫が手作業であることを活かし、町内小中学校や福祉団体等の収穫体験、視察研修等を積極的に受け入れて交流人口を確保。
9	山形県 庄内町	株式会社 いで薬工望	 <p>地元ラーメン店とコラボ商品を開発し提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウス設備・機械設備等へ投資し、積雪地域でも周年栽培と出荷が可能に。 ・ベビーリーフの需要開発のため、レストランやスーパーでの販売に加え、「ベビーリーフ入り白湯ラーメン」等を開発。 ・地域の「子ども食堂」と連携し、児童へ「ベビーリーフ栽培キット」提供した食育活動を実施、
個人部門				
10	宮城県 丸森町	やしま てつろう 八島 哲郎	 <p>美味しいたけのこをいつでも食卓へ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・丸森町耕野地区に元気を取り戻そうと、地元住民と観光客の集いの場として、ミニ道の駅をコンセプトに「いなか道の駅やしまや」を設立。 ・モウソウチクやハチクのたけのこを使用したレトルトカレー等を開発・販売。 ・たけのこ掘り体験が恒例となっていたが、令和3年度はコロナ禍のため中止し、代わりに竹林を案内する「竹林さんぽ」を開始。
11	秋田県 上小阿仁村	すずき たかあき 鈴木 孝明	 <p>農家民宿「奥秋田百笑」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド対応のため、定住外国人を含めた農泊における農業体験・宿泊体験を実施。 ・平成29年2月に菓子販売会社「くら吉」、菓子製造会社「ゆう幸」と、経営する農園との農商工連携により、村特産品「食用ほおずき」と村のPRを行い「くら吉」が首都圏百貨店2店に出店し販路を拡大。 ・令和3年1月に村で2軒目の民間宿泊施設として農家民宿を開業。

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定地区(全国選定:東北ブロック抜粋)

コミュニティ部門			
No.	所在市町村	地区名	取組の概要
1	青森県 中泊町	なかどまりまちのうさんぶつかこうほんばい 中泊町農産物加工販売 施設出荷者協議会	 <p>保冷車を活用した移動販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物の集荷・宅配・移動販売を実現し、高齢出荷者及び車を保有していない買物弱者への支援を実施。 ・商工業者等と協力して「ピュア朝市」の開催のほか、地元高校生のプロジェクトと連携した商品開発等を展開。
2	山形県 山辺町	グループ農夫の会	 <p>田植え風景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作業体験や支援団体とのイベント活動、棚田米の販売など、地域内外の協力により、棚田再生と地域活性化に向けて活動。 ・モンテディオ山形を運営する山形県スポーツ振興21世紀協会や山辺町等と連携し、棚田での米づくりに着目した棚田再生を実施。
3	福島県 喜多方市	ふくしまけんきただたしきょういらい 福島県喜多方市教育委 員会	 <p>黄金色に実った稲の刈り取り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の構造改革特区の認定を受け、市内全ての小学校が、年間を通し農業学習として「農業科」を実施。 ・小学校農業科副読本による学習だけでなく、稲、大豆やトマト等の多数の野菜を自ら栽培し、調理・加工から食することまで実践。
ビジネス部門			
4	宮城県 気仙沼市	けせんぬますいさんしげんかつようけん 気仙沼水産資源活用研 究会	 <p>気仙沼水産資源活用研究会の開発商品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30社超の地元企業と気仙沼市が連携し、平成25年11月に発足。地域資源を活用した商品開発、共通ロゴ等による販路拡大。 ・平成27年度には、(株)KESEMO MARINUSを設立し、化粧品等の水産加工製品ブランドを展開。
5	宮城県 蔵王町	ぞおうのうはくしんこうきょうぎかい 蔵王農泊振興協議会	 <p>空き家を改修した宿泊施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「空き家」、「荒廃農地」等の「負債」を有効に利用することで、「宿泊施設」、「観光農園」等の「資源」に転化。 ・陶芸体験等の新たな体験コンテンツの導入、地域の食材を使った新メニュー開発ワークショップの実施など、観光資源を充実。